

■声と点字の図書館での実践事例

マルチメディアDAISYをもっと手軽に！ ～声と点字の図書館の取り組み

オーテピア高知声と点字の図書館
大谷 陽子

はじめに

「オーテピア」は、高知県と高知市が共同で整備した施設で、①オーテピア高知声と点字の図書館（以下「声と点字の図書館」）、②オーテピア高知図書館（高知県立図書館、高知市民図書館が共同で運営）と③高知みらい科学館の3つの施設が入っています。

オーテピアでは、図書館、点字図書館併設のメリットを活かし、両館が連携・協力して、子どもから高齢者まで、障害のある人へ充実したサービスを提供していくことをめざしています。



オーテピア外観



声と点字の図書館閲覧室①



声と点字の図書館閲覧室②

活用事例・取り組み紹介

声と点字の図書館では、「すべての人を『本』の世界へ」をキャッチフレーズに、国の読書バリアフリー法関連の補助事業「障害者ICT総合サポート事業」を活用し、障害や病気、高齢などで読書が困難な方が音声デージーやマルチメディアDAISY図書などのデジタル資料を手軽に利用できるように、図書やDAISYプレーヤー・タブレットの貸出、郵送・宅配サービス、機器の操作指導などさまざまなサービスを行っています。

その中で、マルチメディアDAISY図書については、目は見えるけれども文字を読むことがむずかしい知的障害や学習障害の人に特に有効なことから、リニューアルオープン以来、所蔵図書

の充実や利用促進に力をいれてきました。しかし、マルチメディアDAISY図書は、パソコン、タブレットなどの読書機器を必要とするため、そうした機器をお持ちでないご家庭も多く、誰もが手軽に利用できない状況があります。

どうすればもっと多くの人にマルチメディアDAISY図書を利用していただけるのか。まだまだ試行錯誤しながらの状況ですが、現状のマルチメディアDAISY図書の活用事例やサービス・取り組みを紹介いたします。

(1) マルチメディアDAISY閲覧用機器はタブレット

マルチメディアDAISY図書の個人貸出については、開館当初はCDでの貸出をメインに行っていましたが、パソコンをお持ちでないご家庭も多く、また、パソコンがあっても「実際に使ってみたが、子どもがあまり興味を示さなかった」という方が多くいました。

一方、特別支援学校（学級）への団体貸出（後述「さくらバリアフリー文庫」）では、iPadにマルチメディアDAISY図書をダウンロードしたものを貸し出していましたが、こちらは「子どもたちが進んで自分から読みたいと言ってくれる」など、かなり好評でした。操作の簡易さや、どこでも読める手軽さなど、パソコンに比べタブレットは、紙の本と同様の利点があると感

じました。

こうしたことから、当館ではマルチメディアDAISY図書の閲覧方法についてはタブレットを基本として閲覧・貸出等のサービスを行うこととしました。

現在、iPad35台、アンドロイドタブレット25台を保有しています。

(2) 再生アプリは「ChattyBooks」を使用

当館では、いくつかの再生アプリを使用していますが、2年ほど前に「ChattyBooks」の存在を知り、パソコン、iPad、アンドロイドタブレットで使用できることから、当館の所蔵機器については、基本的にこのアプリを使用しています。

アイコンがイラストで表示されており、例えば、「ウサギ」のマークを選べばスピードアップ、「亀」のマークだとスピードダウンというように、言葉の理解が苦手な方に使いやすい仕様になっています。また、「本棚」機能が設定されているため、複数のDAISYデータを保存できます。

また、オンラインサービスという機能が設定されているため、DAISYデータをインターネット経由で、簡単にタブレットなどにダウンロードすることもできます。

パソコン、タブレットともに利用できるため、操作指導や貸出などのサービスを統一的、効率的に行えます。

(3) サービス

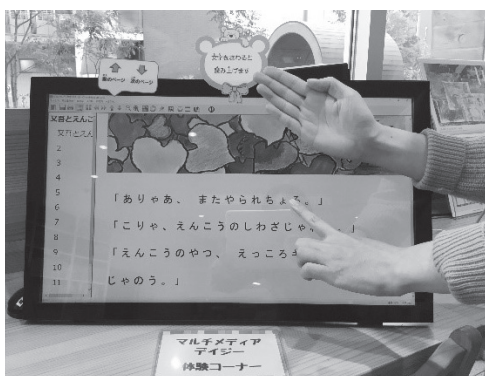
①マルチメディアDAISY図書閲覧コーナー

当事者やご家族の方が実際に体験できるように、マルチメディアDAISY図書閲覧コーナー（パソコン、タブレット）を設置しています。



マルチメディアDAISY図書閲覧コーナー

パソコンでの閲覧は、タッチパネル式のディスプレイを置いています。タッチパネルを使うことで、大きな画面でタブレット端末と同様の感覚で操作ができます。



タッチパネル式ディスプレイ

紙の絵本で文字を指さしながら読むように、自分で読みたい文字を画面でタッチしながら、自分のペースで読み進めていくことができます。

②閲覧用タブレットの貸出、宅配サービス

閲覧に必要な機器をお持ちでないご家庭も多く、多くの方にマルチメディアDAISY図書をご利用いただけるように、ご希望のマルチメディアDAISY図書をダウンロードしたタブレットの個人貸出を行っています。（貸出期間は1か月、20タイトルまで）

障害や遠方で来館困難な方は、ご自宅へのタブレットの宅配サービス（送付・返却とも無料）も行っていきます。

また、ご自宅や施設などへ訪問して操作方法の指導も行っています。



タブレット郵送セット

③さくらバリアフリー文庫（特別支援学校や施設への団体貸出サービス）

併設のオーテピア高知図書館と協力し、特別支援学校、福祉施設、医療機関、図書館などへ各種バリアフリー図書（マルチメディアDAISY図書、録音図書、点字図書、LLブック、布絵本、大活字本など）や録音図書再生機、タブレットなどをセットにして貸し出しています。読書の困難な人が身近な場

所でバリアフリー図書を利用できる環境を提供しています。

(4) 活用事例

マルチメディアDAISY図書については、おもな利用対象者として知的障害や学習障害の子どもを想定していたのですが、成人の障害者も関心をもってくれることがわかりました。

成人の方の事例（知的障害）をご紹介します。

<事例1> 【40歳代・知的障害】

《漢字が苦手。乗り物が好きで地元の図書館でおもに図鑑、写真集などを利用していたが、文字はあまり読めない。内容がよくわからなかった。オーテピア高知図書館に来館した時に、声と点字の図書館を見かけ、来館。マルチメディアDAISY図書、録音図書を利用し始める。》

現在は、絵本から文学小説まで幅広く読書を楽しんでいらっしゃいます。

マルチメディアDAISY図書は、作品数も少ないことから、録音図書も併用して利用されています。

<事例2> 【20歳代・知的障害】

《成人後、知的障害が判明。オーテピア高知図書館でおもに絵本や児童書を借りていたが、文字をうまく読めないため内容はよくわかっていなかった。最近になって、マルチメディアDAISY

図書の利用を始める。図書館で借りていた図書のマルチメディアDAISY版を貸出。》

いままでは、読めないことに悔しさを覚えていたが、読める楽しみを実感したとのことでした。最近では、活字本用にリーディングトラックも愛用されています。

さいごに

今回、ご紹介した方の共通点としては、いざマルチメディアDAISY図書で読めるようになった時、有名な絵本や教科書に載っていた文学作品などのリクエストが多くありました。マルチメディアDAISY図書に出会ったことで、幼少期に読みたかった本をいま、読み直すことで、子どもの頃の読書の時間を取り戻しているのかもしれませんが。

事例では紹介しませんでした。中高生の保護者から、子どもが関心を持ちやすい小学生の時に、マルチメディアDAISY図書に出会いたかったという声もいただきました。まだまだマルチメディアDAISY図書のことを知らない人がたくさんいます。

読書が困難な人が「自分の力で、本を選び、読みたい時に本を読む」ことができるように、より充実したサービスの提供にこれからも取り組んでいきます。